

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		商店街振興対策		款	3	項	5	目	1	事業	2	整理番号	92					
担当部課名		区民生活部産業経済課		係名	産業係		連絡先電話番号		3075		昨年度整理番号	91						
上位施策No・施策名		45 魅力ある商店街づくり		予算事業区分				既定事業										
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	63	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	3	政策番号	2	施策番号	1	事業コード	1	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等 (1) 杉並区元気をだせ商店街事業補助金交付要綱 (2) 杉並区魅力ある商店街づくり事業実施要綱											
	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○イベント事業等助成:商店街を活性化する。 ○情報化推進事業等助成:「地域住民の憩いの場」、「地域コミュニティの形成の場」としての商店街づくりを進め、中小商店等の商業の経営安定と発展を図る。											活動指標名(式)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○商店会等が取組む各種事業に対する必要な指導・補助の実施 ○商店会等がホームページ開設に対する経費補助											成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) イベント開催件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) ホームページ保有区内商店会数 算定式・指標の説明等					
区分	単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%							
		実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)									
指標	活動指標(1)	①	件	65	68	64	65	65	66	105.0	100.0							
	活動指標(2)	②	件	1	2	2	2	2	2	3.0	100.0							
	成果指標(1)	③	件	93	101	96	98	94	99	100.0	95.9							
	成果指標(2)	④	件	26	28	28	30	30	32	33.0	100.0							
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	87,657	126,288	110,140	236,945	222,436	243,624	21年度予算執行率%		93.9						
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項								
	(内)委託費	⑦	千円	2,760	4,865	4,853	4,740	3,864	3,840									
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.52 0.00	2.39 0.00	2.54 0.00	2.39 0.00	2.61 0.00	3.70 0.20	平成21年度・22年度は単年度事業として「プレミアム付区内共通商品券(なみすけ商品券)」の事業予算が加算されています。								
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	23,033	21,630	22,987	21,221	23,174					32,852				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	559									
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	110,690	147,918	133,127	258,166	245,610	277,035									
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	1,702,923	2,175,265	2,080,109	3,971,785	3,778,615	4,197,500									
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0					0				
		国からの補助金等	⑭	千円	43,441	0	0	0	0					0				
都からの補助金等		⑮	千円	/	50,539	47,769	50,539	47,940	53,039									
その他の補助金等		⑯	千円	/	0	0	0	0	0									
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	43,441	50,539	47,769	50,539	47,940	53,039									
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	67,249	97,379	85,358	207,627	197,670	223,996									
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0										

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 92

		内 容	規模	単位	事業費(千円)
21年度の事業実施状況	(1)主な取組み	元気を出せ商店街(イベント)事業補助	94	件	89,292
	※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	新・千客万来・アクティブ商店街事業補助(新規・2年目)	4	件	15,828
		経済交流事業補助	6	件	1,133
		ホームページ開設補助(開設・更新)	2	件	842
		その他(商店会等に対する各種補助及び事業費)			115,341
(2)事業実績	イベント事業等助成など各種補助金制度について、ほぼ計画どおりの規模で実施しました。ホームページを開設する商店街が年々着実に増加し、情報発信力を強化するなど、商店街の魅力づくりに貢献しています。 また、緊急経済対策の一環として杉並区商店街振興組合連合会が発行するプレミアム付区内共通商品券(なみすけ商品券)の販売支援を行い、区内消費の拡大、地域経済の活性化を図りました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	補助制度を利用し、イベント事業をはじめ各種事業への新たな取組みや、意欲的でアイデアが活かされた事業を実施する商店街が増えています。 ○イベント開催件数:平成18年度 85件 → 平成21年度 94件 ○新たな取組み(新・千客万来・アクティブ商店街事業):平成21年度までの累計 27件			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	イベント事業に係る補助金について、申請商店会等から補助対象経費の範囲拡大を求める声があります。また、補助事業は概ね実績払いであるため、規模の小さな商店街は取り組みにくいとの意見があります。			
	今後の予測	景気の停滞、消費者ニーズの変化、企業の出店、経営者の高齢化等、商店街の経営環境は先行き不透明といえます。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)		左の理由または具体的内容 魅力ある商店街を形成するためのハード・ソフト両面の整備を商店街自らの負担で取り組むことは容易ではなく、本事業が大きな推進力になっています。		
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓)				
	②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)		補助対象事業がより効果的に商店街の活性化と魅力向上につながるよう、商店会との連携を図り、かつ必要に応じてアドバイザー派遣などを行いながら、事業内容の精査・向上を図ります。		
	(3)受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容→)		各補助金のあり方とともに、申請者(商店会等)の負担割合の精査を行っていきます。		
	(4)コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容→)		補助金申請者(商店会等)に対し、事業の計画段階から見積・入札等を徹底させ、コストを最小限にするよう指導していきます。		
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[委託]	(4)協働等の今後のあり方 推進			
評価と課題	商店街を取り巻く厳しい経営環境の中で、本事業は商店街の活性化、魅力の向上に一定の成果を上げてきました。一方、中長期的な観点からは、商店街を地域コミュニティの核として位置づけ、地域住民や学校・企業・NPOと連携しながら活性化を図ることが必要です。モノやサービスの提供の枠を超えて、来街者の生活支援機能や安全・安心機能を充実する取組や、地域の連携がより進むようなイベント事業の支援を強化していきます。また、引き続き緊急経済対策としてプレミアム付区内共通商品券の発行を支援するとともに、これを契機に地域内経済循環を促進する取組を進めていきます。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	● 増	○ 現状維持	○ 減	コスト:	● 増	○ 現状維持	○ 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	イベント事業への補助金について、100万円以下の事業の補助率を改正し、主に小規模商店街の活性化に貢献しました。また、緊急経済対策の一環として、杉並区商店街振興組合連合会が発行するプレミアム付区内共通商品券(なみすけ商品券)の販売支援を行いました。販売額10億円に対し、区から1億円の補助金を交付することで額面を11億円とし、その結果区内消費の拡大、地域経済の活性化に寄与しました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	商店会と地域住民・学校・企業・NPO等との連携が進むよう、支援制度を整備します。 また、引き続き緊急経済対策としてプレミアム付区内共通商品券(なみすけ商品券)の販売支援を行います。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	地域住民・学校・企業・NPO等との連携事業については、組織力や資金力、交渉力、積極性が求められます。補助金のほか、「若手リーダー養成セミナー」や「商店街アドバイザー派遣」等の活用を推進します。							
23年度方針	(1)23年度予算見積の方向性	○ 大幅増	○ 増	○ 増減なし	○ 減	● 大幅減	○ 予算なし		
	(2)理由	イベント事業の制度改正により、商店会の実施件数・補助金申請額が増加する一方、緊急経済対策としてのプレミアム付区内共通商品券(なみすけ商品券)の販売支援は22年度単年度実施となるため減額となります。							

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		商店街環境整備			款	3	項	5	目	1	事業	3	整理番号	93			
担当部課名		区民生活部産業経済課			係名	産業係			連絡先電話番号	3074			昨年度整理番号	92			
上位施策No・施策名		45 魅力ある商店街づくり			予算事業区分								既定事業				
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	63	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	3	政策番号	2	施策番号	1	事業コード	2	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等									(1) 杉並区民有灯の整備等に関する条例 (2) 杉並区魅力ある商店街づくり事業実施要綱	
	事業の目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○装飾灯助成:商店街の美観が向上する。 ○防犯カメラ助成:安全・安心を確保する。 ○街の駅等の施設整備助成:コミュニティスペースを確保する。 ○これらにより、商店街の魅力が高まり、集客が増加する。									活動指標名(式) (1) 装飾灯建設助成商店会数 (2) 電気料助成商店会数						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○区有灯の代替として商店会が設置する装飾灯の新設や建替、改修に係る費用、装飾灯の維持管理費(電気料、修繕費、美化費)に対する助成 ○商店会の設置する防犯カメラ等の施設整備などに対する助成									成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 装飾灯建設商店会数に対する助成商店会数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 助成対象商店会数に対する助成商店会数 算定式・指標の説明等						
区分		単位	19年度		20年度		21年度		22年度		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%					
			実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	(目標値)							
指標	活動指標(1)	①	会	4	2	2	4	4	4	4	100.0	100.0					
	活動指標(2)	②	件	120	120	120	120	119	119	119	100.0	99.2					
	成果指標(1)	③	%	100	100	100	100	100	100	100	100.0	100.0					
	成果指標(2)	④	%	100.0	100.0	100.0	100.0	99.2	100.0	100.0	99.2	99.2					
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	183,336	103,397	54,666	77,800	71,676	121,185	21年度予算執行率%		92.1					
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	⑦	千円	0	33	16	33	12	33								
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.51 0.00	0.93 0.00	1.03 0.00	0.93 0.00	1.01 0.00	0.80 0.30								
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	13,801	8,417	9,322	8,257	8,968	7,103							
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	838							
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	197,137	111,814	63,988	86,057	80,644	129,126								
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	49,284,250	55,907,000	31,994,000	21,514,250	20,161,000	32,281,500								
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0							
		国からの補助金等	⑭	千円	57,097	0	0	0	0	0							
都からの補助金等		⑮	千円	/	13,573	1,604	3,900	0	19,900								
その他の補助金等		⑯	千円	/	0	0	0	0	0								
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	57,097	13,573	1,604	3,900	0	19,900								
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	140,040	98,241	62,384	82,157	80,644	109,226								
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 93

21年度の事業実施状況	内容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	電気料助成	119	団体		41,940
	維持管理経費助成	115	団体		13,461
	教会通り新栄会(装飾灯の設置1基、シンボル灯の設置2基、灯具の交換35基)	38	基		4,343
	西荻南中央通り銀盛会(装飾灯の建替)	28	基		3,084
	その他( )				8,848
(2)事業実績	東京都特定施策推進型商店街事業における商店街の装飾灯助成制度に加えて、区から補助対象経費の15/100を上乗せすることで、4つの商店街がLED化を実施しました。また、維持管理の軽減を図るため、119の商店会に対し、電気料金の助成を行いました。商店街の一層の安全・安心を確保するため、2つの商店街で防犯カメラの設置助成を行いました。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	装飾灯は商店街のシンボルとして古くから設置されていますが、近年、電気料が安く、耐用年数が長く、かつ二酸化炭素の排出が少ないLED装飾灯への関心が高まっています。 ○LED化された商店街数 平成21年から実施 計4件			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	商店会から、装飾灯の建設補助対象件数の増加とLED化推進の要望を受けています。街の駅事業は、施設整備経費に加え、維持管理経費を補助対象に含めるよう要望を受けています。			
	今後の予測	景気の停滞、経営者の高齢化等、商店街の経営環境が悪化する中で、さらに環境への配慮、安全・安心の確保、地域コミュニティの役割等、モノやサービスの提供を超えたニーズへの対応が一層求められてくると予測されます。			
事業のあり方点検	左の理由または具体的内容				
	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	魅力ある商店街を形成するためのハードの整備を商店街自らの負担で取り組むことは容易ではなく、本事業が大きな推進力になっています。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	補助対象事業がより効果的に商店街の魅力向上につながるよう、商店会との連携を図り、事業内容の精査・向上を図ります。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容→)	各補助金のあり方とともに、申請者(商店会等)の負担割合の精査を行っていきます。			
(4)コストを下げる余地はあるか ある[手段・方法の変更](具体的内容→)	補助金申請者(商店会等)に対し、事業の計画段階から見積・入札等を徹底させ、コストを最小限にするよう指導していきます。				
協働等点検	(1)協働等は実現しているか 一部実現している	(2)協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)			
	(3)協働等の形態 協働[補助・助成]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	商店街を取り巻く厳しい経営環境の中で、本事業は商店街の魅力の向上に一定の成果を上げてきました。一方今日、商店街に対しては環境配慮等の社会責任や安全・安心機能、地域コミュニティの核としての役割等、単なるモノとサービスの提供にとどまらないニーズへの対応が求められています。今後は、商店会や協働事業者とこれらの目的意識をこれまで以上に共有し、助成事業を進める必要があります。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input checked="" type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	東京都の特定施策推進型商店街事業の承認を受けた商店街に対し、商店街負担額の一部を新たに助成することで、商店街の施設整備への意欲を維持し、商店街装飾灯のLED化を進めていきます。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	区だけでなく、都や国等の補助制度の活用を商店会に促し、施設整備の拡充を図るとともに、整備後の施設が維持できるよう、維持経費に対する補助のあり方を検討します。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	景気停滞による収益悪化で、自己負担分の支出が困難であったり、高齢化等により施設の維持を担う人材が見つからない状況があります。各種補助制度の活用による負担軽減を図ります。							
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	<input checked="" type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	商店会から装飾灯LED化に対する補助金の要望が急増しています。							

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		産業・観光まつり助成		款	3	項	5	目	1	事業	4	整理番号	94	
担当部課名		区民生活部産業経済課		係名	地域産業観光係		連絡先電話番号		3078		昨年度整理番号	93		
上位施策No・施策名		45 魅力ある商店街づくり		予算事業区分				既定事業						
事業開始		昭和	▼	47	年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業
対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 地方自治法第232条の2 (2) 杉並区観光事業補助金交付要綱								
事務事業の概要	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)											
	○観光事業に要する経費の一部を補助することにより、地元産業の振興を図るとともに、区のイベントから都を代表する全国的なイベントとしてさらなる発展を目指す。		(1) 事務経費補助団体数 (2)											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標											
○阿佐谷七夕まつりの事業経費の一部補助(主催:阿佐谷七夕まつり実行委員会) ○東京高円寺阿波おどりの事業経費の一部補助(主催:NPO法人東京高円寺阿波おどり振興協会)		成果指標名(1)		観客動員数 阿佐谷七夕まつり									算定式・指標の説明等	
		成果指標名(2)		観客動員数 東京高円寺阿波おどり大会									算定式・指標の説明等	
区分	単位	19年度		20年度		21年度		22年度計画(目標値)		目標値に対する21年度の達成率%	計画に対する21年度の達成率%			
		実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績						
指標	活動指標(1)	①	団体	2	2	2	2	2	2	100.0	100.0			
	活動指標(2)	②												
	成果指標(1)	③	万人	60	70	65	70	60	60	100.0	85.7			
	成果指標(2)	④	万人	121.0	121.0	70.0	121.0	95.0	100.0	95.0	78.5			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	3,605	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	21年度予算執行率% 100.0				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.24 0.00	0.20 0.00	0.25 0.00	0.20 0.00	0.22 0.00	0.40 0.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	2,194	1,810	2,263	1,776	1,953	3,552				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	5,799	5,310	5,763	5,276	5,453	7,052					
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	2,899,500	2,655,000	2,881,500	2,638,000	2,726,500	3,526,000					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
都からの補助金等		⑮	千円		0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円		0	0	0	0	0					
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	5,799	5,310	5,763	5,276	5,453	7,052					
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

※19年度の国からの補助金等欄の金額は都からの補助金等、その他の補助金等を含む

# 平成22年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 94

21年度の事業実施状況	(1)主な取組み ※(執)(細)は、事業費の内訳として会計上設定している項目	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		阿佐谷七夕まつり補助	1	団体	1,500
		東京高円寺阿波おどり大会補助	1	団体	2,000
		その他 ( )			0
(2)事業実績	①阿佐谷七夕まつりは観客動員数60万人を記録しました。 ②東京高円寺阿波おどり大会は期間中の1日が大雨だったのが影響し、2日間雨であった20年よりは持ち直したものの、例年と比べると観客動員数は減少しています。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	いずれも商店街の販売促進を目的としてスタートし、年を重ねるごとに盛大になり、東京都を代表する夏のイベントの一つとなっています。			
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	①阿佐谷七夕まつりについて、飾りつけのリサイクルが望まれています。 ②高円寺阿波おどり大会について、ごみ・騒音・交通混雑などについて要望があります。			
	今後の予測	①阿佐谷七夕まつりは、商店街のテナント店の増加により、飾りつけの減少が予測されます。 ②東京高円寺阿波おどり大会は、より一層の安全対策が求められます。			
事業のあり方点検	(1)施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由→)	左の理由または具体的内容 いずれのイベントも区内だけでなく、東京を代表する祭りに発展し、観光・産業の発展に寄与しています。			
	(2)①現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる(②↓) ②成果向上のための方策 その他(具体的内容→)	①阿佐谷七夕まつりについて、飾りつけのリサイクルが望まれています。 ②高円寺阿波おどり大会について、ごみ・騒音・交通混雑などについて要望があります。			
	(3)受益者負担の見直し余地は ない(理由→)	いずれも観光への補助事業であるため受益者負担の概念になじみません。			
	(4)コストを下げる余地はあるか ない(理由→)	大規模なイベントへの助成としては少額であり、これ以上のコスト削減は困難です。			
	協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)		
	(3)協働等の形態 協働[補助・助成]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続			
評価と課題	155万人もの来街者に杉並区内で楽しんでいただけ、非常に大きな成果を挙げています。イベントを成功に導くために、商店街や住民、行政が一体となり、祭りの企画、運営に取り組んでいます。主催者をはじめ、警察・消防などイベントに関わる他の団体との協働が実現しています。東京高円寺阿波おどり大会は、観客が特に多く、主催者の体制と安全対策の強化や環境配慮を働きかけていきます。				

改善・見直しの方向(中長期)	成果:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	コスト:	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 減	
	(1)前年度の改革案の取り組み状況(22年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	21年度は、座・高円寺を活用したことで観客が分散し、混雑を緩和させることで安全面の向上をはかりました。							
	(2)改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) ※事業のあり方点検欄を踏まえて記入	主催者、警察・消防などイベントに関わる他の団体と話し合い、安全対策の強化や環境配慮などを働きかけます。							
	(3)改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	イベントの規模に対し、主催者の組織体制が脆弱です。区としては主催者に最大限の自助努力を促し、適切な助言・指導を行います。							
23年度方針	(1)23年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増	<input type="radio"/> 増	<input checked="" type="radio"/> 増減なし	<input type="radio"/> 減	<input type="radio"/> 大幅減	<input type="radio"/> 予算なし		
	(2)理由	まつりを観光資源としてさらにPRしていくためには、更なる安全の確保、環境配慮が必要不可欠です。そのため、イベントの安全実施などの経費補助について検討します。							